

第4回議会報告会

第二部 議員との懇談

質疑・意見一覧

○ 総務委員会への質疑、回答

問 地区で行う防災訓練のマンネリ化を感じている。障害者、高齢者、子ども、妊婦など社会的弱者の避難について、図上訓練などを実施し備えてほしい。市の防災訓練は、どこまで進んでいるのか

答 唐子地区においても、防災訓練をしっかりとやってもらいたいと要望しているが心配だ。東松山市の近辺にも活断層がある。たまたま、大地震の1ヶ月前に熊本へ行っていたが、熊本の地震を踏まえて市に提言していきたい。

答 上野本地区は、昨年「防災安全モデル地区」だった。防災訓練には、100所帯から90人が参加するなど優先的に受け入れてくれた。

問 デマンドタクシーの乗降地点として、東武東上線下りの、つきのわ駅、武蔵嵐山駅が認められているのに、上りの坂戸駅、北坂戸駅に乗降地点は無い、検討を願いたい。

答 デマンドタクシーについては、このことを含め沢山の意見が寄せられています。乗降地点のアンバランスについて、市の担当課へ声を届けたい。

問 東武東上線の跨線橋に名称板をつくってもらいたい。例として6-3号橋は、『たいこ橋』と呼ばれているが、もう少し南にも同じような橋がある。分かりづらく防災上も良くないので対策をして欲しい。

答 6-3号橋は、予算1.8億円かけ補修が行われました。南の6-4号橋も架け替えをしなければなりません。新基準により1mかさ上げするため、もう少し後になりそうです。名称と名称板の件は前向きに要望します。

問 議場の傍聴席には、車椅子が入れないのか

答 市に何度も要望をしているが、高額な予算がかかるようで難しい。第二委員会室にライブ放送のモニターを置くことで対応しています。

問 意見交換会で回答出来なかった質疑は、ホームページで回答するというが、議会だより等には掲載しないのか

答 スペースの都合もあるが、議会だよりも掲載する予定です。

問 総務委員会が行政視察した3自治体の人口と議員数はどうか

答 多治見市 人口：11.4万 議員：24名 大垣市 人口：16.3万 議員：22名 知多市 人口：8.6万 議員：20名です。

問 議会報告会は四回目ということだが、女性や若い人が来てない。今後の対応を検討して欲しい。

答 総合的に検討します。まさに課題と考えています。

○ 総務委員会への質疑、回答（当日未回答となったもの）

問 市の組織改正により、部室の順番で総務部が後ろに回った理由はなにか

答 市の最上位計画である第五次総合計画作成した部署が政策財政部であり、ここが筆頭部署となったものです。他市も同様の傾向にあります。

問 議会報告会を夕方にも実施して欲しい。嵐山町は、場所を変えて昼と夜に行っている。

答 時間帯を含め、総合的に判断いたします。

○ 総務委員会への意見、要望

意見 議員に女性枠を設けてはどうか。本来は5割希望だが、少なくとも3割は必要と考える。

意見 総務委員会で災害被災地等を視察し、東松山市の現状に沿った対策を研究してはどうか。

意見 議員数の削減を検討しても良いのではないか。

厚生文教委員会へ送付した意見

意見 国は、子どもの貧困のために「学び」の補助へ動き出した。さいたま市も始めているが、東松山市は十分でないと感じている。貧困世帯の方が自分から声をあげることは少ない。市の側がすすんで手続きを説明するなど国の施策が活かされるよう望む。

意見 青鳥小の子ども放課後教室が定員過剰になっており、開催しても子どもが落ち着かない。教室を増やすには予算上の問題があるようだが、既存の空き教室を利用してはどうか。

意見 手話が分からない聴覚障害者のために、講演等の際は、パソコンで早打ちし、壁に投影をしてほしい、そのような技術をもった職員等の養成を望む。

意見 私は75歳以上ですが、医療費を1割負担しています。80歳以上になったら無料にして欲しい。出来ない理由は何なのか。

○厚生文教委員会への質疑、回答

問 2013年6月の広報紙に国民健康保険税の税率が変更になるという記事がある。現在は、所得割、資産割、均等割、平等割の4方式課税であるが、その記事は国保財政運営の都道府県単位化に向けて、所得割と均等割の2方式になる見込みであるとのことだった。しかし、その後は何ら広報紙に記事が出ない。一度、保険年金課に問い合わせたところ、まだ検討中とのことであった。現在どのような状況なのか。

答 埼玉県内の自治体は、4方式と2方式に分かれている。資産をたくさん持っている方は、どうしても税金が高くなる。東松山市でも、所得割と均等割の2方式にしようという方向であったが、いつになるかはわからない。

答 方向性として、そのようになるということは我々議員も聞いているが、時期までは、わからない。今の質問は、後日お答えする。

問 保険年金課から、医療費のお知らせの通知が郵送されて来る。郵送する目的は何か。

答 病院の中には、診療していない人の名前を使って申請（不正に診療報酬を得る）したり、経理がいい加減な病院があるため、本人が確認する意味があるのではないだろうか。

答 担当課に確認したところ、実際に本人がかかった医療機関を確認するようにとのことであった。しかし、ある病院に2回かかった場合に、2回分の合計額が記載されているため、特に、高齢者は明細がよくわからない。赤字の国民健康保険を少しでも解消するため、送付を止めて郵送料を節約するべきだと思う。

他の参加者の意見

窓口で支払った金額と保険が負担する金額が記載されているため、郵送で医療費の額を本人に示すことで医療費を抑制する意識を持つように働きかけているのではないだろうか。

答 郵送料がいくらなのか確認する。

問 放課後子ども教室は、先生が対応しているのか。

答 退職した校長先生等が中心となり、子どもたちに関心のあるお母さん方が支援している。

問 高坂に保育園ができるとのことだが、隠れ待機児童は何人位いるのか。

答 担当課に確認したが、現段階では人数は発表できないとのことである。昨年度当初の待機児童は12名であり、年度途中で多少増加したようである。

問 市民病院は、全面的に救急医療を再開したのか。

答 輪番制は、金曜日と日曜日であるが、その他の日に行くこともできる。

問 市民病院に通院している人は、救急の場合に対応してくれると聞いたが本当か。

答 本当である。市民病院にかかっている患者しか診てもらえないということであったので、議会の一般質問で全面的に救急医療が再開されるように求めた。その後、全面的に救急医療が再開され今日に至っているが、受け入れ拒否が多いとのことであり、議会で受け入れ拒否について質問したところ、市民病院にかかっている患者については、その患者に対する診療情報が多いことから、できる限り全ての患者を受け入れるようにとの指導が病院長からあり、今日に至っている。

問 市民病院では、看護師がすぐに辞めてしまい常に看護師が不足している状態である。優秀な看護師は市内に多数いるが、お子さんがいるため働けない方がいる。そこで、市民病院内に保育室を設置し、看護師の雇用を確保できないか。

答 以前、厚生年金病院に勤務しており、そのような話もあったが、結局、創設されなかった。病院内に保育室を設置するとなると、保育士を確保する等、国の定める保育の基準に沿った環境が必要になる。その条件をクリアすることは難しいのではないだろうか。また、保育室を設置しても、実際に預ける方がどれ位いるのだろうか。

答 日本の女性の雇用はM字型なので、対策を考えた方がいいとは思っている。調べてみる。厚生文教委員会として、対策を考えたい。

問 新たに保育園をつくるのではなく、市立保育園の定員を増やせないか。

答 国の方針で、待機児童を解消するために少しずつ定員を増やすようにという指導は出ている。隠れ待機児童がいる可能性もあるため、とにかく実態調査が必要であると思う。

厚生文教常任委員会でアンケート調査等を行い、政策にしていきたい。

○ 厚生文教委員会への意見、要望

意見 図書館には指定管理者制度が導入され、4月から新しい派遣会社の職員になった。図書館を社会教育としての場と考え、市民に図書について助言をするという観点から、図書館は、司書の資格を有する職員の配置だけでなく、職員同士や職員と市民との交流も必要であると思う。

意見 平成28年3月から、介護予防・日常生活支援総合事業が始まり、高齢介護課から詳細を説明してもらった。とてもよかったので、他の地区でも説明してほしいとお願いしたところ、何らかの理由により、各活動センターで説明することはできないとのことであった。そこで、高坂丘陵地区では出前講座で説明をお願いしたが、担当課が各活動センターで説明を行うことはできないか。

意見 大東文化大学は、(旧)緑山小学校を所有しているが、そこを高齢者のサロンとして開放してもらえないか。現在、高齢者の増加により場所が不足している。手続きを踏めば貸してもらえるが、もっと使いやすくなるよう、活動センターに申し込めば使用できるようにしてほしい。

意見 かつて、娘が松山第一小学校から卒業時に記念樹をもらったが、マンション、アパートに住んでいる人たちは困るのではないだろうか。

意見 教育委員会に文書等を請求すると、他課と比べて、なかなか出してもらえない。合理的な理由がないのなら、速やかに公開してくれるようお願いしてほしい。

総務委員会から送付を受けた意見

意見 国は、子どもの貧困のために「学び」の補助へ動き出した。さいたま市も始めているが、東松山市は十分でないと感じている。貧困世帯の方が自分から声をあげることは少ない。市の側がすすんで手続きを説明するなど国の施策が活かされるよう望む。

意見 青鳥小の子ども放課後教室が定員過剰になっており、開催しても子どもが落ち着かない。教室を増やすには予算上の問題があるようだが、既存の空き教室を利用してはどうか。

意見 手話が分からない聴覚障害者のために、講演等の際は、パソコンで早打ちし、壁に投影してほしい、そのような技術をもった職員等の養成を望む。

意見 私は75歳以上ですが、医療費を1割負担しています。80歳以上になったら無料にして欲しい。出来ない理由は何なのか。

○ 経済建設委員会への質疑、回答

問 環境プロジェクトに入って、生ごみ減量に取り組んでいるが、補助が打ち切られるときいた。地域でも定着しつつある活動なので、経緯を大切にしながら施策を決定してほしい。

答 行政もごみの減量を考えている。簡易包装や資源化が進んだ結果、ごみの排出量が減少していることを数字で確認できる。施策を決定する際には、十分に効果検証を行うべきだ。

問 ごみが減っているというお話があったが、人口が減少傾向、ほぼ横ばいの中、ごみは増えていると私は思っている。何を根拠にごみが減っているとおっしゃるのか。

答 市のごみ処理施設で排出量を把握している。また、自治会等での資源ごみの排出量なども把握しており、それらの数字を確認するとごみは減っていると言える。最近ではスーパーの資源ごみ等の回収コーナーの利用も進んでおり、エコの意識は高まってきていると考える。

答 生ごみの水分を取ってごみに出すという取組も進んでいる。民間企業と本庄市が連携し、専用商品の開発を進めていると聞いた。本市においても積極的に推進したい。

問 夢灯路などの様々なイベントにより、まちが少しずつ活気づいていると感じている。市内外の友人も同様の意見だ。この良い流れを加速するためには、市内のみならず、東上線沿線など広域的な取組が必要だ。広域的なマーケティング戦略、あるいは施策はお持ちか。

答 行政区を超えた取組には課題も多くあるが、比企地域として一体的な観光PRなどを進めている。また、市民の中から音楽を通じて沿線を繋いでいこうという動きも出てきている。

○ 経済建設委員会への質疑、回答（当日未回答となったもの）

問 以前、ごみ対策市民会議で検討し、ごみ袋の有料化について提言したが、それに対する報告が一切ないので回答をいただきたい。

答 担当課に確認し後日回答したい。

○ 経済建設委員会への意見、要望

意見 市民団体への活動補助を3年間で打ち切ると市から聞いた。同一団体に補助を出し続けることに消極的な市の立場もわかる。補助する3年間で、活動を自立させてほしいという市の考えもわかる。しかし、環境団体が自前で活動資金を得ることは非常に難しい。現在も、持ち出しが発生している。時間とお金を使って善意で活動している市民ばかりなので、柔軟な対応をお願いしたい。

意見 埼玉中部資源循環組合に関する情報が少ない。私たちが出すごみの処理にどれだけお金がかかり、どのように処理されるのかなど、情報を住民に積極的に伝える必要がある。その上で多くの住民で議論すべき。

意見 人口一人当たりのごみ排出量を県内で比較すると、東松山市の数字はかなり高いため、ごみの減量化に取り組む必要がある。

意見 議員団として報告も良いが、議員個人での情報発信に力をいれるべき。新聞広告やSNS等メディアを活用した積極的な情報発信により、議員個人の考え、思想、顔の見える報告を。

意見 御手杵の槍が公開になるが、市はもっと積極的に情報発信すべき。観光分野に限らず、あらゆる分野で情報発信に力を入れて欲しい。

意見 観光ボランティアガイドとして活動している中、まずは市民に自分たちの住んでいるまちのことをよく知ってもらうことが大切だと感じている。まちを知って、愛してもらいたい。何もないではなく、見つけていく、発見していくことが大切だ。

意見 市民が東松山市を愛しているということが、他の地域への何よりのPRになると思う。